

3. 本会議までの取組

(1) 子ども議員任命式

平成 24 年 5 月 1 日 (火) 16:00 ~ 16:30 会場: 議場

- ①市長から子ども議員全員に子ども議員任命書授与
- ②子ども議会に向けて激励の言葉 市長, 教育長



(2) 第 1 回学習会

平成 24 年 5 月 1 日 (火) 16:30 ~ 17:30 会場: 議場

- ①市長講話 「総社市の市政について」
- ②記念撮影
- ③事務局説明 「市議会のしくみについて」
議会事務局 議事係長 弓取 佐知子
「一般質問の作り方」
こども課 主幹 河相 祐子
- ④議場見学



(3) 第 2 回学習会

平成 24 年 7 月 19 日 (木) 15:00 ~ 16:30 会場: 保健指導室

- ①学習会
「仙台市, 石巻市へ 行く前に」
総務課 主幹 新谷 秀樹
「市議会について」(DVD 視聴)
- ②行政視察事前説明
行政視察の日程について
役割分担について

(4) 行政視察壮行式

平成 24 年 7 月 27 日 (金) 11:00 ~ 11:30 会場: 301 会議室

- ①激励の言葉 副市長, 教育長
- ②子ども議員代表あいさつ
- ③各学校制作のメッセージ・折鶴等の披露等



(5) 行政視察

1 目的

東日本大震災の被災地を訪問することで、新聞やテレビでは理解できにくい被災地の現状や、被災された方々の想いに触れることで、震災について学習したり、学んだことを、家庭・学校・地域などで知らせるとともに、後世に語り継ぐため。

2 期日

平成 24 年 7 月 30 日 (月) ~ 31 日 (火)

3 場所

宮城県仙台市, 石巻市

4 行程

1 日目 7月30日

総社市役所 (市バス) 岡山駅 (新幹線) 東京駅 (新幹線)
5:20集合 6:10 6:20 9:43 9:56

仙台駅 (貸切バス) 石巻市内 (貸切バス) 視察・意見交換 仙台 (貸切バス)
11:37 11:45 13:15 17:00 18:30ごろ

2 日目 7月31日

ホテル (貸切バス) 仙台市内 (新幹線) 表敬訪問・意見交換
8:30 8:45 13:26

東京駅 (新幹線) 岡山駅 (伯備線) 総社駅
15:08 15:30 18:56 19:14 19:45解散



活動内容

「語り部」による石巻市視察

- | | |
|-----------|--|
| 1 日 程 | 平成 24 年 7 月 30 日 (月) |
| 2 時 間 | 13:15 ~ 15:00 |
| 3 「語り部」とは | 「語り部」は、東日本大震災を千年先に語り継ぐ想いで始められたものです。多くの人命が失われ、家屋、港湾、道路等に甚大な被害をもたらした今回の災禍を全国の人々に伝えることも大切な復興支援として考えられて実施されます。
私達も、あらためて自然災害について考え、防災意識の向上を図るきっかけにしなければなりません。 |
| 4 活動の流れ | 13:15 バスに語り部さん乗車
15:00 語り部さん降車
お礼の言葉
記念品贈呈 |

石巻市立湊中学校との意見交換会

- | | |
|----------|--|
| 1 日 程 | 平 24 年 7 月 30 日 (月) |
| 2 時 間 | 15:00 ~ 16:30 |
| 3 湊中学校とは | 津波被害により学校は使用できず、中里小学校敷地内に仮設校舎を建てて授業再開 |
| 4 活動の流れ | 15:00 会場入室・着席
15:00 湊中学校について 20分
15:20 総社の概要について 10分
15:30 仮設校舎・校庭見学 15分
15:45 グループでの意見交換 30分
・まずお互いに簡単に自己紹介をしよう
・湊中学校の皆さんの震災体験を聞いてみよう |

テーマ
「災害が起きたときにできること
災害に備えてできること」

- | | | |
|-------|-------------------------------|-----|
| 16:15 | グループで話し合ったことを発表しよう | 10分 |
| 16:25 | 総社の中学生から石巻の中学生へ折鶴、メッセージ、記念品贈呈 | 5分 |



市長表敬訪問及び講話

- 1 日 程 平成 24 年 7 月 31 日 (火)
- 2 時 間 9:00 ~ 10:00
- 3 会 場 市議会第1委員会室
- 4 表 敬 訪 問 「そうじゃ・宮城っ子基金」で交流のある仙台市役所を訪問し、市長に面会します。
- 5 仙台との関わり 総社市では、東日本大震災が発生した翌日の3月12日



から、消防や水道などの職員 47 名を現地へ派遣し、現地での救援活動や救援物資の搬送などをおこないました。仙台市を支援する最初のきっかけは、「吉備路れんげまつり」などで寄せられた義援金を東北三大まつりの一つで復興支援の象徴的イベントである「仙台七夕まつり」へという想いで、奥山恵美子仙台市長に手渡したことでした。

被災地を訪れた片岡聡一総社市長は、被災地の惨状を実際に見て、両親をなくした子どもたちの生活と就学を支え、一刻も早い復興を願って、総社市民や、企業、団体から寄せられた義援金で、宮城県内の震災孤児に一人年間 10 万円を 5 年間支給する「そうじゃ・宮城っ子基金」を設置し、平成 23 年度は、79 名に支給しました。この「そうじゃ・宮城っ子基金」の取組に対して、平成 23 年末に、奥山市長から感謝をこめたビデオレターが届きました。市では、このビデオレターをホームページに掲載すると共に、市役所ロビーで放映しました。

- 6 講 師 教育指導課長 八巻 賢一 氏

- 7 活動の流れ
- 9:00 部屋に入室
- 9:00 市長歓迎のあいさつ
- 9:05 生徒代表あいさつ
- 折鶴、メッセージ贈呈
- 9:10 懇談
- 9:20 記念撮影
- 9:25 講話開始
- 10:00 講話終了
- 10:00 バスに乗車



奥山恵美子仙台市長表敬訪問時のあいさつ (抜粋)

この七夕も東日本大震災を受けまして昨年もやったんですけど 鎮魂と復興というこの2つのテーマで今年もやっていきたいと思います。総社の皆さんからは、この東日本大震災の後で大変たくさんの方の支援をいただいた。大変感謝しているところです。募金やいろいろなことをしてくださって、温かい気持ちをいただきました。特に、「そうじゃ・宮城っ子基金」ということで両親をなくした子どもたちが、これからは安心して勉強できるように奨学金の制度をつくっていただいたことは、仙台の子どもたちにとって、とても心温まるものです。この子どもたちを、これ以上不幸な目にあわさないようにしっかり勉強して、世の中にでていけるように応援しようという気持ちを総社のみなさんからいただき、ありがたく思っているところです。

今日は、子ども議会の皆さんがこうして仙台に来てくださったので、やはり、東日本大震災のことは、新聞やテレビでごらんになっていると思いますが、現地を見なくては本当のおそろしさやすごさを感じにくいと思いますので、昨日は石巻をごらんになっているようですが、そこでしっかりと自分で見て、聞いて、感じたことを岡山や総社の皆さんにも伝えていただければなあと思います。東日本大震災の中でしっかり復興してまいりますけれども、悲しかったけど、つらかったけど、しかし、貴重な経験を皆さんと分け合えるということは、この悲しみの中でも大きな希望です。今回の皆さんの視察とそれからの報告が、これからの総社の子どもたちにとって役に立つものであるように祈念して、私のあいさつといたします。今日はようこそおいでくださいました。

仙台市には 199 の小・中・高校があって、そういうところが避難所になるのですが、一番多いときは、仙台市民は 105 万人いるのですが、10 万人以上の方が避難してきて、199 では足りなくて、市内に 300 ぐらいの避難所ができました。全部の学校が避難所になりました。その中で、避難所の中学生が運営にがんばってくれました。仙台市の職員は 10000 人いるのですが、やらなければならないことがたくさんあって、避難所のお世話をする人が足らなかった。中学校が避難所になったときは、その学校の中学生が、トイレに流す水を運びましょう、お年寄りの車椅子を持ちましょう、食糧を分けるのを手伝いましょう、いろんなことをしてくれて、助かりました。本当に大人たちは正直いって「仙台の中学生はひ弱じゃあないか」「もう少ししっかりして欲しい」と思ったけど、震災の時には、こんなにしっかりしていたので、とても感心して、うれしいなあと思いました。部活で歌や音楽をやっている子たちは、避難所の人たちが、10 日も 1 週間も着のみ着のままのままでいるわけだから、せめて僕たちが歌をうたってなぐさめてあげよう、演奏してあげよういろいろなことをしてくれて、あの時は子どもたちに助けられたなあとも地域の人たちが言っています。小学生や中学生だからといって、できないということはない、何か必ずできることがある。それを私たちが先生も勉強しましたねえ。



仙台市高砂中学校との意見交換会

- 1 日 程 平成 24 年 7 月 31 日 (火)
- 2 時 間 10:30 ~ 12:00
- 3 活動の流れ
- 10:30 会場入室・着席
 - 10:35 高砂中校長, 総社市挨拶 5分
 - 10:40 高砂中学校について 5分
 - 10:45 総社の概要について 5分
 - 10:50 グループに分かれて着席 50分
グループでの意見交換
・まずお互いに簡単に自己紹介をしよう
- テーマ
「災害が起きたときにできること 災害に備えてできること」
- 11:45 グループで話し合ったことを発表しよう 15分
 - 12:00 総社の中学生から仙台の中学生へ
折鶴, メッセージ, 記念品贈呈
お礼のことは



意見交換会に参加して下さった生徒の皆さん

石巻市立湊中学校	雁部 海豊
	小金澤 盾哉
	齋藤 智也
	松川 光希
	横山 巧
	阿部 なつみ
	大橋 香織
	金井 祐斗
	菅原 彰太
	水野 翔太
	相澤 歩
	佐藤 明音
	佐藤 瑠菜
鈴木 可奈	
仙台市立高砂中学校	阿部 拓海
	小野 果菜
	齋藤 芽
	我妻 茉奈
	山田 大地
	細田 彩佳
	遠藤 真央
	大場 寛己
	小野 寺望恵
	山田 翼
	渡辺 千尋
	平山 雄大
	新田 奈々
	及川 翔太
	佐藤 奈都
	村尾 雄斗
浜口 若菜	

(敬称略)

ありがとうございました。皆さんの前向きな姿勢と笑顔に、
私たちが大きな力をいただきました。